



通信

HP 学校だより
R7.1.15
NO.36
文責 伊藤美佳



地震への備え

昨年は1月に能登半島地震、8月に南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発表されるなど、いつ来るかわからない「南海トラフ地震」が現実味を帯び、不安な気持ちになったことを覚えています。

今年は、穏やかな新年を迎えていた矢先の13日（月）の夜、またもや同じような震源域での地震が起きました。「巨大地震注意」の発表には至りませんでした。地震の恐怖は拭い去れません。

10日（金）に予告なしの避難訓練を実施しました。予告なしの上、掃除中ということもあって、放送がよく聞こえなかった子もいたかもしれません。しかし、避難するにあたって、真剣に取り組むことのできなかつた子どもたちがいたことも事実です。避難訓練の際に、「地震はいつ来るかわかりません。その時にパニックにならないためにも、訓練を真剣に取り組むことが大切です。人は、パニックになることで冷静な判断ができずに救える命も失うことがあります。冷静な判断ができる状態であるために、真剣に訓練に取り組みましょう。」と伝えました。その矢先、地震が起きたので、子どもたちにも訓練の大切さが実感できていればと思います。

「備えあれば憂いなし」ということわざがあります。いざというときに備えて、あらかじめ準備しておけば、事が起こっても心配することはないという意味です。自然災害に十分な準備はできないのかもしれませんが、お子さんと一緒に考えてみることで、子どもたちにとっての防災の学びとなります。ぜひ、一度「備え」について話し合ってみてください。

【「言葉」増やしコーナー】※生活の中でお子さんと使ってみてください

○「備えあれば憂いなし」と同じ意味（類語）の言葉は

「転ばぬ先の杖」…転んでから杖を用意してもなんの意味もないことから、

「前もって用心していれば、失敗することがない」というたとえ

「石橋を叩いて渡る」…壊れることがないように石橋でもしっかりと安全を確かめることから、「用心深く物事を行うこと」のたとえ

○反対の意味（対義語）の言葉は

「後悔先に立たず」…すでにしてしまったことを後になって悔やんでも、取り返しがつかないことから、「何かする前にしっかりと考え、準備をすることが大切である」という意味

「なわとび」がんばってます

豊坂小学校の1月は「なわとび」です。

14日（火）の朝、体育委員会が集会の中でいろいろな技を教えてくれ、全校で練習することができました。業間も昼休みも子どもたちは元気になわとびを跳んでいました。なわとびは、こつこつ練習すると技ができるようになったり、跳び続けられるようになったりと、自分自身の成長を実感できます。この時期に、「自分ってすごいじゃん」と思える経験をしてくれることを期待します。